

図書館だより

19号

2025 Feb

THEN YOU WILL KNOW, THE TRUTH, AND THE TRUTH WILL SET YOU FREE. JOHN 8:32

「書いてある」

図書館長 大和 昌平

Γέγραπται

ゲグラプタイ

『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる』と書いてある。」(マタイ4章4節) 主イエスが申命記にこう書いてあると示された箇所ですが、「書いてある」の原語は γέγραπται (ゲグラプタイ) です。このギリシア語が旧約聖書に書かれた神の言葉を引用する度に頻出します。

ゲグラプタイというゴツゴツした響きをもつ言葉は、一度本に書かれた文章は半永久的に残ることも示しています。グーテンベルクが発明した活版印刷によって聖書の頒布数は無限大に広がりました。本学図書館はグーテンベルク聖書のレプリカを所属していますが、印刷された聖書は500年間変わらずに残るのです。



皆さんがこの大学で学ぶ基盤は専門家の先生方に対面して学ぶ授業にあります。大学の教師が成立するために少なくとも30年はかかります。そうして先生が教えられるのは長くても40年ほどです。人はみな

老いて死ぬからです。しかし、本に刻印された教えは500年でも1000年でも残ります。ここに大学に良い図書館がない理由があります。先生は交代しますが、いったん印刷された書物はだんだんと蓄積されて、大学の力となっていきます。大学の図書館は実は無尽蔵の教員を抱えているのです。

教室を出ると図書館に足を！

そこには学生のあなたが手に取って読んでくれるのを黙って待っている先生方が整然と並んでおられるからです。



館長からの一言

二十歳前後の私はシラケた学生でした。高校時代に聖書とキリスト信仰に出会って熱中し、牧師への志も抱いたことへの反動でした。大学4年間は私にとってモラトリアム、事を先延ばしにする猶予期間でした。牧師になる道を本当に歩み出すのがやはり怖く、一時は自由にさせてほしかった。卒業後2年間働いて、心定めて神学校に進みました。しかし、その時期に得たものも大きかったのです。皆さんの人生にもそんな時があるかもしれません。

大和館長をもっと知りたい人へ

専門: 仏教とキリスト教の比較研究、日本思想史におけるキリスト教、日本における葬送儀。

著作: 『牧師の読み解く般若心経』ヨベル 2009年、『追憶と名言によるキリスト教入門』ヨベル 2012年 YOBEL、『日本人の死生観、聖書の死生観』分担執筆、いのちのことば社 2019年 他多数



Contents

巻頭言 図書館長から	1
朝岡先生から&おすすめ	2-3
花野井先生から&おすすめ	4-5
神学校図書館フォーラム	6
神図フォーラム1-9回記録	7
図書館スタッフのおすすめ	8-9
貸出ランキング	10

図書館を大いに用いよう。 主体的に、能動的に！

Voice of Faculty

Asaoka Masaru

朝岡 勝

このページはTCUで授業を教えておられる先生に、図書館・本にまつわるお話を伺うコーナーです。

学生の皆さんは「図書館」にどんなイメージを持ち、どんな用い方をしているでしょうか。僕が学生時代の前半を過ごした国立キャンパスの図書館は今ほどの規模はありませんでしたが、1年生、2年生の頃、勉強になかなかついて行けなかった僕は、授業で分からない話や言葉が出て来ると教室から図書館に直行して辞書や事典を調べ、次の授業で知らない用語が出てくるとまた図書館に直行するという、教室と図書館往復の日々でした。アルバイトもしており、当時、蔵書管理が「図書カード」から「バーコード」へ切り替わる時期で、司書室の机に本を積み上げ、ひたすらバーコードを貼り付けた日々を思い出します。

やがて卒業して地方教会に遣わされ、身に染みて知ったのが図書館のありがたさです。新刊本や貴重な神学書に注解書、雑誌や紀要がすぐ手に取っても読める。それがどれほど恵まれた環境であったことか。そう思うと、ぜひ在学中に図書館を利用する楽しさを十分に経験してほしいと思います。そして利用するだけでなく、大いに活用してほしいと思います。本を借りるだけ、試験や卒論前の勉強の場だけにしておくのはもったいない。もっと主体的に、能動的に図書館を用いてほしい

のです。

『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』という映画があります。ドキュメンタリー映画の巨匠フレデリック・ワイズマンの作品で、ニューヨーク市にある本館・分館あわせて90以上の図書館の日常をひたすら映し出す作品は、3時間半の上映時間を忘れるほど引き込まれるものでした。運営の責任を担うNPO法人理事会の様子や、図書館で催される多彩な企画、子どもたちの学習支援や低所得者向けのWi-Fiルーターの貸し出しなど、およそ「図書館」という枠にはまりきれないパブリックなあり方はとても魅力的です。

TCUの図書館にもたくさんの可能性が詰まっています。本を書いた先生がいたら、著者を交えたトークイベントもできます。本好きな学生同士のビブリオバトルも楽しそうです。聖書学の先生方にインタビューしてコメンタリーリストを作るのもいいでしょう。その他、気に入った本を朗読する会や、少人数で集まる読書会などなど、図書館でできることはいろいろありそうです。子連れの学生やご家族が使える部屋や地域の人にも開放できるスペースがあるとよいなとも思います。

朝岡 勝（あさおか まさる）Profile

日本同盟基督教団市原平安教会牧師。岡山、東京で牧師として働き、2021年からこの昨年春まで学園理事長・学園長、そして秋まで非常勤講師として信条学、説教を担当しました。図書館の恩恵をたくさん受けた。



My Book Mark

オススメ

朝岡勝先生から の一押し図書 3冊

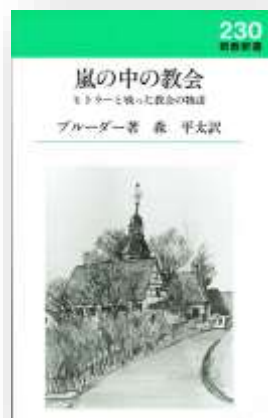


読書

『嵐の中の教会 ヒトラーと戦った教会の物語』 O.ブルーダー著 新教出版社、1989年（新書）

あらゆるところで勧めまくっている一冊。とりあえずTCU在学中に一度は読んでください。僕が伝えたかったことはすべてこの中にあります。

「戦時下、御言葉の真理を守るため戦ったドイツ農村の一小教会、極限下でイエスを主と告白しつづける教会の姿を感動的に描く。改訳新版復刊。」出版社紹介より



『それで君の声はどこにあるんだ？ 黒人神学から学んだこと』 榎本空著、2022年、岩波書店

今、神学するとはどういうことか、実存をかけて学ぶとはどういうことか、「どこで学ぶか」よりも「だれから学ぶか」がいかに大切か。瑞々しい文章が迫ってきます。

「黒人神学の泰斗、ジェイムズ・H・コーンに学ぶため、27歳の筆者はNYにあるユニオン神学校の門を叩いた。教室にさざめいたハレルヤ。ブラック・ライヴズ・マターという仲間たちの叫び。奴隷制以来、400年に及ぶ苦難の歴史に応答することはできるのか？ 黒人神学の泰斗のもと、ユニオン神学校で学んだ日々を振り返る。出版社の一言より



『読みつつ生き、生きつつ読む 自伝的読書論』 朝岡勝著 キリスト新聞社、2024年12月

宣伝です。新刊！本を全く読まなかった僕がどのように本と出会ってきたかをありのままに書きました。ブックガイド的に使ってもらえればなど。

「本」との出会い、そこにある「ことば」と「人格」との出会い。読書という人格的体験に秘められた出来事に、どれほど人を成長させる力があるのか。「本」の力を再発見する、体験的読書録！出版社紹介より



朝岡先生の読書を支える小物たち

読書が充実！！とっておきの場所

「スタバでの読書」 お気に入りのタンブラーを持ってお店で3時間。だいたい一冊読み終わられる至福の時です。

寄り添う
現場で

学生相談室の本棚から

花野井 百合子 (はなのい ゆりこ)

臨床心理士・公認心理師・家族心理士。現在、大学学生相談室と精神科クリニックの非常勤カウンセラーとして勤務。趣味は心惹かれる建物を見ること。2017年入職。



学生時代、キリストの体である教会がどうしてもなんにも問題に満ち、病みうるのだろうかと思わず悩んでいたことがありました。心傷ついた人々に寄り添っていきたくて思っていました、それを聞いたある人に「みんなそうだよ」とあっさり返されてしまいました。私は不当に傷つけられた人たちのことが頭にありましたが、その人は、相手を傷つけるような人も既に傷ついていると先を見越していました。病むと言っても、実際には色々な「病んでいる」様相をもった人がおり、診断がつくとも限らな

い。そうなるといった誰が病んでいるのか、何をもって病んでいるとするのか、そもそも神の前に病まぬ人など存在するのであろうかと、自分の中で「病と信仰」が切り離せなくなってきました。一方で、「健やかに病む」ということにも目が開かれていきました。

今回ご紹介する本は全て自分の恩師が著したのですが、いずれも関心のあるトピックスから読むことができます。

わたしのおすすめ3冊

MY 推しブック

今回ご紹介する本は全て自分の恩師が著したのですが、いずれも関心のあるトピックスから読むことができます。

● 『図解自分の気持ちをきちんと<伝える>技術』 平木典子著, PHP研究所, 2007年

自分も相手も大切にしながら自己表現をし、コミュニケーションをすることを「アサーション」といいます。他者を踏みにじるのではなく、自分を後回しにするのではなく、まず自分の状況(状態)を考え、他者を配慮するというやり方が存在します。自分の気持ちを相手に伝えるためには、相手の話だけでなく、自分の気持ちにも耳を傾ける必要が出てきます。続編の『図解相手の気持ちをきちんと<聞く>技術』も併せておすすめします。



●『心の病と信仰』 平山正実著、袋命書房、1998年 (在庫扱い有)

本書はキリスト教関連の雑誌や新聞に掲載されてきた、クリスチャン精神科医である著者の短くも示唆に富んだエッセイがまとめられています。心の病と信仰の関係から教会や「聖書に見る人間模様」まで様々な問題提起や気づきに満ちています。「教会因性精神病」という一見ぎょつとしそうな言葉も出てきますが、著者の診察室にて、それだけ心痛めた多くの信仰者との出会いが繰り広げられてきたことを私も垣間見させていただきました。



●『ありのままの自分を生きる』 藤掛明著、一麦出版社、2009年

「もうやってられない!」と思ったことはありませんか? 誰しも人生のどこかで息切れを体験することがあるのではないのでしょうか。何かに一生懸命になることがあればなおさらのこと。そして、えてして渦中にあるのは息切れを自覚することすらも難しいものです。キリスト者も例外ではありません。第3章「信仰と息切れ」では「二律背反」や「多義性」など、自らの信仰に自由と広がりをもたらされるようなヒントに出会えることと思います。



図書館の棚 1階
194 /

学生相談室

日々のルーティンをそばでそっと見守り、
支えてくれる 学生にとってかけがえのない
パートナーのような
とってもリラックスできる場所ですよ。
置物など小物もとってもいいセンス さすが!

大学HPより



図書館交流 イベント

Library & person
& networking

第9回神学校図書館フォーラム

2023年7月5-6日

**講師：高井ヘラー由紀先生（台南神学院図書館長、
専門台湾キリスト教史）、見学：明治学院歴史資料館⇒国立
国会図書館⇒内村鑑三記念今井館、会場：東京基督教大学**

2年前となりますが、TCUを会場に神学校図書館フォーラムの9回目が開催されました。各神学校スタッフ、教員など延べ15名程が参加（zoom、部分参加含む）。講師は高井ヘラー由紀先生（台南神学院（台南神学院））助理教授。2021年より同神学院図書館長兼任、ご専門台湾キリスト教史）をお招きし、「台湾の神学校から見えてきた 神学図書館の特殊性と可能性」と題して貴重な講演をしていただきました。見学は 明治学院資料館、国立国会図書館、無教会今井館を見学しました。今回の参加団体は、神戸改革派神学校、聖契神学校、聖書協会、東京基督教大学。神学図書館についてより広い視野での学びと交流の時となりました。（司書：阿部伊作）



見学先について



内村鑑三記念今井館

今井館は、内村鑑三に関わる書籍、及び内村鑑三、無教会に関わる人物の著作約1万冊、及び個人伝道雑誌約250種が収蔵され、一般に公開されています。無教会の活動や歩みに関係のある資料を保存、活用できるよう整備されてる専門図書館で、アーカイブズ機能をもつ文書館でもあります。NPO法人今井館教友会によって運営されています。内村鑑三ファン必見。場所は文京区本駒込、都内六義園近く。



明治学院歴史資料館

<https://shiryokan.meijigakuin.jp/>

明治学院の歴史に関する貴重な歴史資料が保存されています。米国長老教会ミッション、オランダ改革派教会ミッションの流れをくみ、1877年できたプロテスタント系の神学校、東京一致神学校（明治学院の源流、前進校）の資料はプロテスタント教会の神学校としては外せない存在です。



＊神学校図書館フォーラム 記録

2006年～2023年 全9回開催記録

日時、見学先、講師、参加者、参加校数、会場等（敬称略）。この会は、アジア神学図書館フォーラム、米国の神学図書館協会に刺激をうけ、必要を覚え各神学校図書館スタッフや図書館関係者、各校教員による交流と学びの会でした。

- 1, 2006年8月24～25日, 「神学校図書館とは？」 見学：聖書協会聖書図書館（銀座）, 講師：柳澤健太郎、三森春生、山口陽一、小林高德、阿部伊作, 10名, 8校, 会場：東京基督教大学図書館, (TCU)
- 2, 2007年8月23～24日, 「こらからの神学校図書館」, 見学：東洋文庫, 講師：稲垣久和、伊藤明生、平野貴士、阿部伊作, 13名, 11校, 会場：東京基督教大学図書館
- 3, 2008年8月28～29日, 見学：日本聖書神学校、賀川豊彦記念松沢資料館, 講師：杉浦秀典、秋山憲兄、山口堯嘉（復活書店）、新井浩文、真野節雄, 17名, 10校, 会場：上同
4. 2009年8月20～21日, 「専門図書館としての神学校図書館（ヘブル語入門）」, 見学：聖三木図書館、イグナチオ教会, 石川栄一, 16名, 9校, 会場：日本聖書神学校,
- 5, 2010年8月19～20日, 「広げよう繋がろう聖書と霊的読書の世界」, 見学：点字図書館, 吉川直美、田辺浩介、藤掛明, 11名, 8校, 会場：日本聖書神学校,
- 6, 2012年8月3日, 見学：上智大学石神井分館, 講師：田中秀晴, 7名, 5校, 会場、見学先にて
- 7, 2014年8月1日, 見学：ニコライ堂と東京正教神学院, 講師：中村敏, 20名, 11校, 会場：御茶ノ水聖書学院
8. 2019年8月20日、見学：豊島家(ハリストス正教会信者宅)、講師：松崎裕子、13名7校、会場：TCU

海外におけるキリスト教図書館ネットワークなど

ATLA=American Theological Library Association (ATLA)

ForATL=Forum of Asian Theological Librarians

ACL=The Association of Christian Librarian <https://www.acl.org/>

CSLA=Church and Synagogue Library Association



1974年発行「神学校図書館」第1号

今までの参加校、日本基督神学校、神戸改革派神学校、神戸ルーテル新学院、聖公会神学院、中央神学院、聖書神学校、バプテスト神学校、日本聖書神学校、聖契神学校、インマヌエル聖宣新学院等、また個人の参加がありました。

故三森春生先生（インマヌエル綜合伝道団引退牧師）について 1929年東京生まれ、2024年7月14日召天 95歳

三森先生は、1970年代に同様な神学校協議会を立ち上げ、このフォーラムがスタートするとすぐに支援、長く支えてくださいました。改めてその司書として長きのお働きと励ましを覚え感謝申し上げます。三森先生は、1948年、KGK活動に参加、1952年、イムマヌエル聖宣神学院入学。インマヌエル綜合伝道団王子教会牧師、イムマヌエル聖宣神学院では講師、教授を歴任。同図書館司書を、1954年から2023年まで69年間務められました。KGK理事長、OCC総主事ほか多数の超教派諸団体を指導され、団長としてイスラエル、中東、ヨーロッパほかを訪問。2015年に日本福音功労賞受賞。著書に『希望への招待：キリスト教理解の手引き』『踏み出す一歩があなたを変える』『日本宣教祈りのガイド』（オペレーション ジャパン出版委員会）、『それは教室から始まったキリスト者学生会（KGK）発足とその歴史』（イーグレープ）などがあります。



図書館スタッフのおススメ本

図書館学生スタッフとパートの皆さんに お名前 学年 趣味、とおすすめ図書を聞きました。



齋藤 真依：4年、出身：US生まれ台湾育ち
趣味：コンテンツ鑑賞(テレビ、漫画、音楽 etc.)、
写真・絵を描き見る、散歩、何でもない時間を何も
せずに過ごす、美味しいものを食べ探すこと。

『いまを生きるあなたへ 神に招かれて』
安藤理恵子著、いのちのことば社、2020年
尊敬する安藤先生の著書。優しく身近な言
葉で、しかし力強く、信仰生活を励まして
くれる。



朱 柔映 (ジュユヨン) 2 学年、出身：韓国。趣味：
ワーシップソングを聴くこと

『感情のもかた: つらい感情も、あなたの「味方」になります』堀越勝著、いきいき株式会社出版局、2015 →心理学の授業を取っているのですが、感情(心理)について詳しく書いてあり簡単に解決方法も書いてあるから。



古賀 望実 3年、出身は福岡、趣味：美味しいもの
を食べること、カフェ巡り、音楽を聴くこと、

『天路歷程』正篇、バニヤン、新教出版、ある旅人
のお話。人生の紆余曲折の中で、人はその都度選択
を迫られますが、正しい道を選択する難しさと神様の
助けが必要であることを教えられました。



新井 雅実 院2年、神奈川県、お菓子作り、車走らせて
1人で賛美すること。(最近車壊れて無くなった、涙)

『勇ましく高尚な生涯』竹脇真理著、いのちのこと
社、19才で亡くなった男子の日記、悩み生きている
姿に「わかるなあ」と共感、それでも主から目を離
さないで生きる姿に心を打たれます。



TCU図書館スタッフのおすすめ いい本 いろいろな本！！



児玉 めぐみ

TCU 卒(第 13 期生) 出身:長野県、趣味:読書、美術鑑賞 推し活:子どもと「びじゅチューン」。

『はてしない物語』ミヒャエル・エンデ作、岩波書店 1982、『モモ』『赤毛のアン』シリーズその他、児童文学。様々な体験をさせてくれる児童文学に毎日を楽しむエネルギーをもらっています。



石原 勇士

学年:3年生 趣味:睡眠
押し:仮面ライダー

おすすめの本:『蜜蜂と遠雷』恩田陸著、幻冬舎 2016。音楽の世界を、こんなにも豊かに言語化できるのかと感動しました!読み始めたら止まりません!



沼上 もえ

出身:東京
趣味:合唱、読書、ドラマ鑑賞

好きな本『おおきな木』シルヴァスタイン著、篠崎書林。1984。木がイエス様みたい!♡!!



川上 広樹

学年:院2年、出身:大阪、趣味:映画鑑賞
おしかつ:最近はまゆりかという芸人を推しています

好きな本:『キリスト信徒のなぐさめ』内村鑑三著、岩波書店 2021.10 新版 岩波文庫
:どれほどに深い慰めがキリスト者には与えられているのか、内村鑑三の人生を通して教えられます。僕は読みながら涙が止まらなくなりました。笑



いつも笑顔で利用者(学生さん)に対応、やさしい図書館スタッフ、探してくれる、たのし頼もしい仲間たちです!!



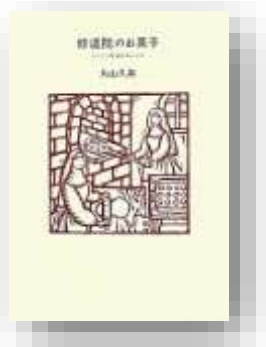
2024年4月1日～2024年12月31日 貸出 ランキング (図書)

順位	書名	著者	出版社
1位	ヨハネの福音書(ティンデル聖書注解)	R・V・G タスカー著	いのちのことば社
2位	Our reasonable faith	Herman Bavinck	Wm. B. Eerdmans
3位	ルカの福音書(ティンデル聖書注解)	レオン・モリス著	いのちのことば社
4位	ケースワークの原則 援助関係を形成する技法	F.P. バイステック著	誠信書房
5位	ヨハネ伝講義	高橋三郎著	待晨堂
6位	ヨハネ福音書注解	伊吹雄著	知泉書館
7位	Across the spectrum understanding issues in evangelical theology	Gregory A. Boyd Paul R. Eddy	Baker Academic
8位	植村正久夫人季野がことども	佐波亘編	教文館
9位	センターチャーチ バランスのとれた福音中心のミニストリー	ティモシー・ケラー著	いのちのことば社
10位	敗戦の神義論 (内村鑑三を継承した人々)	藤田若雄編著	木鐸社

こんな本 本棚にみつけ ! えっつ! 意外!

当図書館、えっつこんな本あります。驚く、あなたに「刺さる」なにかに出会えるはず。図書館はいろいろな

出会いの窓であふれています。ある本を入り口として、たくさんの世界に触れること、おススメです。



『修道院のお菓子：スペイン修道女のレシピ』丸山久美著、地球丸、2012



『冒険図鑑：野外で生活するために』福音館書店、1985



『聖(セイント)☆おにいさん』中村光著、講談社 2022. モーニングKC.



『それいけアンパンマン』フレーベル館、1975

■ 編集後記

お忙しい中、図書館便りに原稿を寄せてくださった皆様、心よりありがとうございます。久々の発行となりました。皆様、是非図書館をご利用ください。3月に卒業予定の皆さんの活躍をお祈りしております。

図書館を利用くださる皆様に改めて、心から感謝を申し上げます。ご協力と暖かなご支援を感謝します。図書館は、これからも、図書や人、また自分との思いもよらない素敵な出会いを応援してまいります。近年話題の石川県立図書館のHPにご紹介します!!是非ご覧を。

How to make full use of the library library.pref.ishikawa.lg.jp/special/

図書館だより 19号

2025年2月10日発行

編集・発行 東京基督教大学図書館

〒270-1347 千葉県印西市内野3-301-5-4

Tel: 0476-46-1131(代表) Fax: 0476-46-1407

e-mail library@tcu.ac.jp